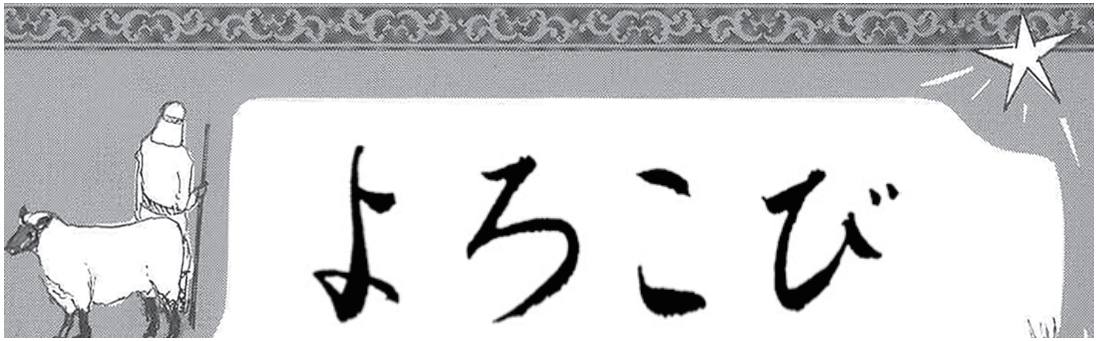




2023.11.20 第 139 号

年金局・「隠退教師を支える運動」通信

恵みによつて、足るを知る

日本基督教団副議長 藤盛 勇紀

私が富士見町教会に着任した頃、教会の裏手にある蕎麦屋は、龍安寺の「知足の蹲踞」を模した図がトレードマークでした。「口」を部首に持つ四つの漢字「吾唯足知」は、「吾、唯、足ることを知る」と読みます。龍安寺の説明には、仏遺教経に出てくる「知足の者は、賤しと雖えども富めり、不知足の者は、富めりと雖も賤し」から取られ、これは禅の神髄であり、茶道の精神でもあり、真の平和の精神でもあると記されています。ある住職は、「足る事を知る人は不平不満が無く、欲望が制御され、煩惱妄想による迷いもおのずと消え、心豊かで清き状態でおれる」と説

明します。
ただ、それはそうだと思うても、実際はなかなかそうは行きません。むしろ、「あれが足りない、これが足りない」「もっと、もっと」と、より



藤盛 勇紀 先生

多くのものを求めて汲々とするのが現実です。「知足」が禅の神髄なら、凡人には無縁ですし、煩惱妄想もなく、心豊かで心清き状態でおれるのも、非凡な人へのみ許された

境地でしょう。

ある人は、この精神は聖書にも説かれていると言います。フィリピの信徒への手紙の3・11、12だというわけです。パウロが言うことは、たしかに遺教経の精神と同じようにも思えます。とすると、パウロのように数々の艱難をくぐり抜けた、一種の信仰的エリートが到達する心境なのでしょうか。そうではなさそうです。

パウロは言います、「わたしを強めてくださる方のお陰で、わたしにはすべてが可能です」と。「わたしを強めてくださる方」の「お陰で」と。自分の経験の積み重ねとか精神修養の結果、到達した

境地というのとはわけが違います。パウロが言う「強さ」は、鍛え抜かれた精神的強靱さのようなものではありません。この強さは、むしろ「弱さ」とつながっています。コリントの信徒への手紙二の12章でパウロは、自分の身に与えられた「とげ」ゆえの自分の弱さを語っています。彼は繰り返し主に祈ったのですが、主のお言葉は、「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」でした。それでパウロは、自分の弱さを誇り、「わたしは弱いときにこそ強い」とまで言います。

「弱さの中でこそ」「弱いときにこそ」と言うのは、イエス様が弱さの極みを知り尽くして、弱さの極みの中に死なれたからです。その主が今、弱り果てた自分に親しく語りかけてくださっている。だから、自分の弱さに途方に暮れて窮乏して行き詰まったとしても、そこで、「主よあなた

の恵みは私に十分です」と言える。恵みが十分だから、自分の置かれているところで忍耐もするし、また希望をもって知恵を用い、力を発揮する人もいるでしょう。まさに、弱いときにこそ強いのです。

「知足」は仏教的精神かもしれない。生老病死の四苦も仏教的な言葉ですが、人間の根本問題です。生まれること、生きること、老いること、病むこと、死ぬこと。しかし、主のものとされた私たちには、私たちがどんな状態で、どこにいたとしても、そこに主がおられます。老いの坂にも、病にあっても、そして死においても、私たちは主のものです。

私は主のもの。この事実において、私たちは「十分」です。「十分」の語源は「足る」と同じ。だから「弱さ、侮辱、窮乏、迫害、そして行き詰まりの状態にあっても、キリストのために満足しています」。どんな時でも足ることは、人

間関係を守ります。「足りない、足りない」で貪り合ったら、もうそこは地獄です。しかし、貧しさの中でも足りているなら、そこは暖かな場となるでしょう。十字架の主

の「恵みを知る」ことで「足るを知る」。それは、私たちの交わりの希望でもあります。

(ふじもり ゆうき
東京・富士見町教会牧師)

「隠退教師を支える運動」

全教区推進協議会報告

2023年10月13日(金)に、今年は昼食を挟んで午前午後の4時間半に亘り「全教区推進協議会」を開催することができた。

協議会の中心メンバーである推進委員と教区・支区の推進員に監事・陪席者に加え、総勢27名(うちZoom 5名)の参加者を与えられた。

開会礼拝(説教網中彰子総幹事)に始まり、昨年度事業報告・決算報告、今年度計画と上半期の活動状況の報告、

教団年金の概要説明(中川義幸年金局理事長)が行われた。昼食休憩の後、初めて掲げたテーマ「運動の輪を広げよう」の下、2名の推進員による発題を受けて協議を進めた。当運動についての「私たちのビジョン」を一同で唱和し、祈

祷会を以って閉会した。

なお、この誌面には参加されたお二人の推進員からご寄稿いただいた。

(事務局長 山田昌人)

「100円献金の大切な

役割」について学ぶ

関東教区推進員 山本 安生

私は、今年10月13日の全教区推進協議会に関東教区推進員として参加させて頂くことになりました。推進員としての役割と実行すべきことについて、ぜひとも学んで帰りたいと思って出席しました。

この会議に出席して感じたことは、年金局理事長から、教団年金の中に占める「100円の献金」について時間を割いて詳しく説明があり、大変分かり易く、支える運動の存在意義を示す大切なことだと思いました。それから、奥羽教区と九州教区の推進員から担当教区での活動の紹介がありました。この内容も、教区によってそれぞれ事情はあるでしょうが、いずれの例も私にとつては、大変参考になる内容だったと思います。今後、こうした推進員

の活動報告がなされると、発表する人も、聞く人も、それぞれに学ぶことが多いのではないかと思います。

(やまもと やすお／鹿島教会)



「全教区推進協議会」2023年10月13日開催

全教区推進協議会に

出席して

大阪教区推進員 黒野 忠和

はじめての協議会は、対面出席でなく、Zoomの参加になりました。次回は是非、対面で参加できることを願っています。

「隠退教師を支える運動・100円献金」の崇高な運動について、理解をより深める時間となりました。今年7月開催の新任推進員研修会で、運動の基本的な姿勢、役割について、ご教示いただきました。本協議会で、2教区(奥羽、九州)の推進員2名より、日々の活動報告をお聞きして、ただ頭が下がる思いがしました。教団年金局理事長の「教団年金の精神、制度概要、年金の安定性、収支バランスなど」の講演を聴き、隠退教師を支える運動の意義、精神をより理解することが出来ました。隠退教師の老後の生活を

お支えるためだけでなく、現役教師が老後を心配されることなく、伝道・牧会に専念できる環境を整える働きでもあるこの運動が推進出来ますように、力を与えてください。

(くろの ただかず／東梅田教会)



業 務 室 よ り

― 年金を受けている方へ ― 年金給付のお知らせ

12月の定例給付のご案内をします。

送金内容 2023年度第3期分給付
(2023年10・11・12月分)

送金日 2023年12月8日(金)
期日に、ご指定の金融機関に入金されて
いない場合は、ご連絡ください。

次回送金 2024年4月10日(水)

連絡先・年金振込先の変更は、できる
限り早めに、書状、Fax、e-mailの何れ
かで、年金局までお知らせください。

☆ 10月10日の定例給付では、退職年金と
キリスト教教育主事退職年金、合わせて
1億669万円を706名の受給者にお送り
いたしました。

なお、次回の給付は4ヶ月後と、いつも
より期間が空きますのでご注意ください。

☆ 「教団新報・年金特集」(No.78)を同封
します。年金局ならびに「隠退教師を支
える運動」の2022年度決算報告を掲載
しております。どうぞご覧ください。

また2022年度に隠退され、年金受給者
となられた34名の先生の内、22名の先
生方からお寄せいただきました近況を掲
載いたしました。この場をお借りして、
執筆くださったみなさまに感謝いたしま
す。併せて、隠退された全ての先生方と
ご家族の上に、主の豊かな祝福をお祈り
いたします。

☆ 2024年1月下旬に確定申告のための計
算書をお送りいたします。大切に保管し、
確定申告の際にご利用ください。遺族年
金受給者には送付しておりません。必要

な方は年金局までご連絡ください。

☆ 今年の「謝恩日」は11月26日です。全
国の教会・伝道所に献金をお願いをして
います。長い年月、主の業に全力を注い
で来られた先生と遺族の方々が隠退後に
少しでも安定した毎日をお送りいただ
けるようにという願いから発足した教団
の教師退職年金は、全国の教会と信徒の
みなさまから献げられる「謝恩日献金」と「隠
退教師を支える運動100円献金」が大き
な支えとなり、59年間歩んでまいりまし
た。これからもこの制度が永続的に健全
な運営が続きますようお祈りとお支えを
お願いいたします

☆ 8月に匿名の方から年金制度充実のた
めに300万円の献金をいただきました。
感謝してご報告いたします。

☆ お詫びと訂正

よろこび138号1頁 辻哲子先生の文
章、下段21行目「継続的聖典としての
の聖書の学び」は「継続的正典としての
聖書の学び」に、お詫びして訂正いたし
ます。

☆ 世界では内戦や戦争が止まず、多くの方
が命を落として、日常生活を奪われている
ことに心が痛みます。改めて12月3日
からの待降節に主のご降誕の意味を考え
てを過ごたいものです。

この秋は、昼夜の寒暖差が激しく、体調
を崩す方が多いとのこと。また新型
コロナウィルスとインフルエンザの同時
流行も続き、これからは本格的な寒さに
向かいますので、健康にくれぐれもご留
意されますよう、主のお守りをお祈りい
たします。(村山めくみ)

日 本 基 督 教 団 年 金 局

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18

Tel: 03(3202)2080 / Fax: 03(3202)2081
mail:nenkin@uccj.org

「隠退教師を支える運動」推進委員会

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18

Tel: 03(3232)8005 / Fax: 03(3202)2081
mail:sasae100@uccj.org